

令和8年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	56	上伊那農業 高等学校	全 課程	農 業 科
----------	----	---------------	------	-------

学校教育目標	道徳教育の重点目標
「上農で、わたしと伊那谷をデザインする」 ☆生命に学ぶ実践的な学びをとおして、自分の人生を自らデザインしよう！ ☆地域の方々と協働して地域の課題に取り組む探究的な活動を通して、活力ある伊那谷をデザインすることにチャレンジしよう！ 「JOHNO QUEST!!」 ～伊那谷のくらしに根ざし、わたしの人生を探究する～ ☆生命と向き合い、生命に問う学びをとおして、自分の人生を探究していこう！☆時代や社会の変化に対応した探究的な活動をとおして、活力ある伊那谷のくらしづくりに尽力しよう！☆自己を見つめ、夢や目標を持ち、実現に向けて行動しよう！	1. 上農生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。 2. 実習や部活動、生徒会活動をつうじて、他者と協働する活動を通して、個と集団を尊重する態度を涵養する。また、地域社会と連携し、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 3. 生命を学ぶ実践的な学びをとおして、他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。 4. すべての生徒が安全・安心に学校生活を営むことができる環境を整備し、特に「いじめ」は絶対に許さないという心を育てる。 5. 人命と社会道徳について考える機会をつくる。
重点目標	
理念 『上農で、わたしと伊那谷をデザインする』 『JOHNO QUEST～伊那谷の暮らしに根ざし、私の人生を探究する』 1. 生徒一人ひとりの人格を尊重して、いじめ・体罰のない安全・安心な学校づくりをめざす。 2. 育てたい生徒像を共有し、生徒一人ひとりに対して個に応じた教育にあたる。 3. 生命に学ぶ実践的な学びをすすめて、豊かな人間性とグローバルな視点を持った生徒を育成する。 4. 基礎学力の充実と専門性の基礎・基本の修得、生徒の多様な進路実現に努める。 5. 地域社会と連携する機会を創りだし、そこでの課題に取り組む探究的な活動を進める。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科
1 年	学校内外での農業教育をはじめとする諸活動を通して、自律的な行動に努め、よりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	キャリア形成に向けて学校教育を通じて意識を身に付けさせる。1年次の3学期から専門科のカリキュラムが6コースに分かれるが、選択場面ではキャリア形成を念頭においた指導助言を行う。 ○キャリアガイダンス ○コース選択	仲間とともに協力し合う活動を通して、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（映画鑑賞） ○ソーシャルスキルトレーニング	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○上農祭	国語 現代文・古文・漢文の作品の学習を通して、人としての生き方、社会との関わり方、コミュニケーションのあり方を深く考察し、実生活の中で実践する姿勢を育む。 地理歴史 歴史・地理教育を通じて、社会の在り方や人間の生き方について考え、哲学、思想、宗教における魂を深める教育を通じ、深い道徳心や高い倫理観を育む。 公民 人権教育や主権者教育をつうじて道徳的な人生観を育み、社会の一員として未来を創造し、地域社会の担い手として貢献できるよう指導する。 数学 数学的な見方・考え方で物事を見聞し、考察することで、知的好奇心や豊かな感性、創造性の基礎を養う。 理科 自然の事物・現象について学び、豊かな心や環境の保全を大切にする力を育む。 保健体育 体育や保健の学習過程を通して、粘り強くやり抜ける心や一人一人の違いを大切にする態度を養う。 芸術 芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 外国語 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 家庭 主体的に生活を創造する学習を通して、家族や社会の一員として、より良い暮らし方や生き方を考え実践する態度を養う。
2 年	2学年として、より深まる普通教科の学習やより実践的なコース別学習や実習を通じて、人間としての在り方や生き方について考える。中間学年としての自覚と責任を高めることで、学校社会の中心となる。行事や部活動を通じて共同体の一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	キャリア教育、進路学習を深め、将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○コース別研究 ○各種職業体験活動 ○進路別科目選択	一人ひとりの人格を尊重して、いじめ・のない安心・安全な学年づくりをめざす。クラスマッチ、上農祭、修学旅行、収穫祭等行事を通じてクラス意識を高め協働し尊重しあえる関係を築く。 ○平和学習（修学旅行事前学習） ○人権学習（映画鑑賞）	学校の中核学年として生徒会活動や部活動を通じて主体的に行動する態度を養い、諸活動の中心である自覚を高め、学校全体の各部、委員会のリーダーとして、より良い集団づくりにより主体的に行動する。 ○部活動 ○上農祭・収穫祭 ○生徒会活動	情報 農業情報処理を通じて、科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会でモラルやリテラシーを身に付け基礎になる考え方と姿勢を身に付ける。 総合的な探究の時間 生命を学ぶ実践的な学びをとおして、自分の人生を自らデザインする。地域の方々と協働して地域の課題に取り組む探究的な活動を通して、活力ある伊那谷をデザインする。探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。
3 年	成人として、社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的価値を理解し、自分とのかかわりの中でその価値を捉える態度を養う。	社会や職業に自立するための能力や態度を育成し、将来の進路を考え、社会にどのように参画していくかを考える機会を設けると共に、多様な進路実現に向けて学び合う態度を養う。 ○進路探究○課題研究	学校や地域社会の諸課題にも興味や関心をもち積極的に取り組むことで、自らの意志や判断に基づいて主体的に行動し課題解決に導くための態度を養う。 ○将来の生き方 ○人権学習（映画鑑賞）	高校生としてのみならず、地域社会を担う若者としての自覚に基づき、多様性を認め、支え合いながらともに生活できる社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会、部活動の運営 ○ボランティア活動	

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。
-----------	--